

ダイワ・オーストラリア 高配当株α（毎月分配型）

株式αコース

通貨αコース

株式&通貨ツインαコース

運用報告書（全体版）

第84期（決算日 2020年2月17日）

第85期（決算日 2020年3月17日）

第86期（決算日 2020年4月17日）

第87期（決算日 2020年5月18日）

第88期（決算日 2020年6月17日）

第89期（決算日 2020年7月17日）

（作成対象期間 2020年1月18日～2020年7月17日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約10年間（2013年1月23日～2023年1月17日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	株式αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	株式&通貨ツインαコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、予想配当利回りの高いオーストラリア株式へ投資するとともに、オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5747>

<5748>

<5749>

株式αコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P / A S X 200 指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
60期末(2018年2月19日)	6,013	90	△ 7.3	11,118	△ 6.8	—	98.3	329
61期末(2018年3月19日)	5,888	90	△ 0.6	10,873	△ 2.2	—	98.6	319
62期末(2018年4月17日)	5,757	90	△ 0.7	10,881	0.1	—	98.4	325
63期末(2018年5月17日)	5,687	90	0.3	11,325	4.1	—	98.3	324
64期末(2018年6月18日)	5,559	90	△ 0.7	11,196	△ 1.1	—	97.3	325
65期末(2018年7月17日)	5,570	90	1.8	11,626	3.8	—	98.6	319
66期末(2018年8月17日)	5,367	90	△ 2.0	11,386	△ 2.1	—	98.5	302
67期末(2018年9月18日)	5,223	90	△ 1.0	11,072	△ 2.8	—	95.5	333
68期末(2018年10月17日)	4,914	60	△ 4.8	10,530	△ 4.9	—	98.4	311
69期末(2018年11月19日)	4,912	60	1.2	10,566	0.3	—	98.4	309
70期末(2018年12月17日)	4,698	60	△ 3.1	10,186	△ 3.6	—	99.0	280
71期末(2019年1月17日)	4,558	60	△ 1.7	10,186	0.0	—	98.8	271
72期末(2019年2月18日)	4,614	60	2.5	10,714	5.2	—	95.4	260
73期末(2019年3月18日)	4,654	60	2.2	10,913	1.9	—	98.4	261
74期末(2019年4月17日)	4,720	60	2.7	11,269	3.3	—	98.4	262
75期末(2019年5月17日)	4,437	60	△ 4.7	10,714	△ 4.9	—	98.4	246
76期末(2019年6月17日)	4,366	60	△ 0.2	10,946	2.2	—	98.4	243
77期末(2019年7月17日)	4,407	60	2.3	11,281	3.1	—	98.4	244
78期末(2019年8月19日)	4,009	60	△ 7.7	10,328	△ 8.4	—	98.4	205
79期末(2019年9月17日)	4,260	60	7.8	11,074	7.2	—	98.5	219
80期末(2019年10月17日)	4,140	60	△ 1.4	11,112	0.3	—	98.3	208
81期末(2019年11月18日)	4,186	40	2.1	11,266	1.4	—	98.2	211
82期末(2019年12月17日)	4,244	40	2.3	11,527	2.3	—	98.3	210
83期末(2020年1月17日)	4,284	40	1.9	11,973	3.9	—	98.3	194
84期末(2020年2月17日)	4,095	40	△ 3.5	11,749	△ 1.9	—	99.0	186
85期末(2020年3月17日)	2,570	40	△36.3	7,275	△38.1	—	98.2	116
86期末(2020年4月17日)	2,698	40	6.5	8,319	14.4	—	98.0	122
87期末(2020年5月18日)	2,703	40	1.7	8,320	0.0	—	98.4	123
88期末(2020年6月17日)	3,079	40	15.4	9,807	17.9	—	97.7	142
89期末(2020年7月17日)	3,163	40	4.0	10,060	2.6	—	98.3	144

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

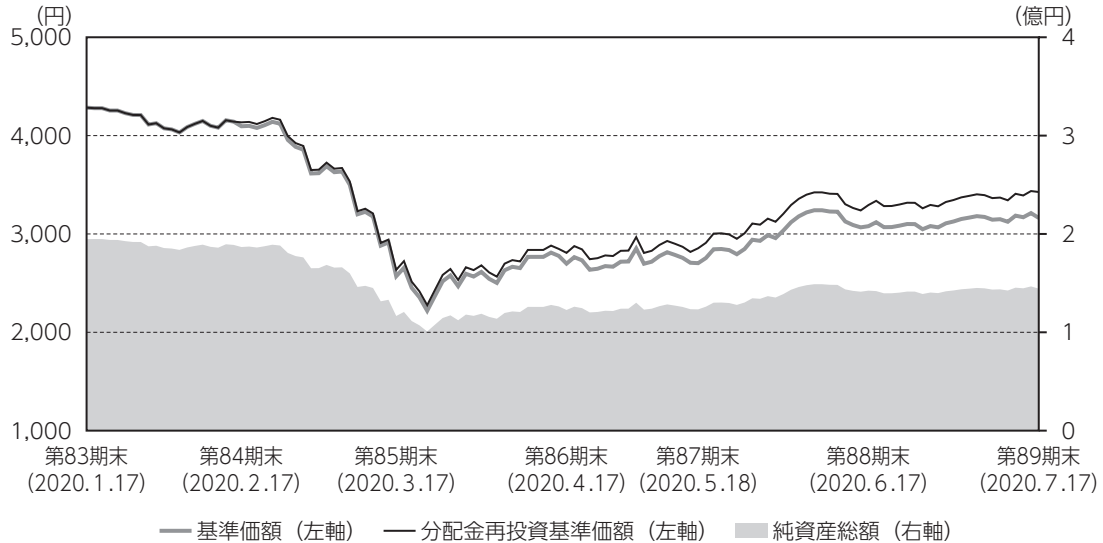
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第84期首：4,284円

第89期末：3,163円（既払分配金240円）

騰落率：△20.0%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

主にオーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）に投資した結果、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）の下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）については、オーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株価が下落したことや豪ドルが対円で下落（円高）したことがマイナス要因となり、下落しました。株式オプション取引については、株価は当作成期を通して見ると下落したものの、下落期間より上昇期間の方が長く、下落期間におけるオプション要因のプラス効果より上昇期間でのマイナス要因の蓄積が大きくなったため、当作成期を通して見るとマイナスに働きました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型） 株式αコース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (円換算)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第84期	(期首)2020年1月17日	円 4,284	% -	11,973	% -	% -	% 98.3
	1月末	4,074	△ 4.9	11,479	△ 4.1	-	98.0
	(期末)2020年2月17日	4,135	△ 3.5	11,749	△ 1.9	-	99.0
第85期	(期首)2020年2月17日	4,095	-	11,749	-	-	99.0
	2月末	3,857	△ 5.8	10,704	△ 8.9	-	98.8
	(期末)2020年3月17日	2,610	△36.3	7,275	△38.1	-	98.2
第86期	(期首)2020年3月17日	2,570	-	7,275	-	-	98.2
	3月末	2,595	1.0	7,653	5.2	-	98.0
	(期末)2020年4月17日	2,738	6.5	8,319	14.4	-	98.0
第87期	(期首)2020年4月17日	2,698	-	8,319	-	-	98.0
	4月末	2,720	0.8	8,418	1.2	-	98.4
	(期末)2020年5月18日	2,743	1.7	8,320	0.0	-	98.4
第88期	(期首)2020年5月18日	2,703	-	8,320	-	-	98.4
	5月末	2,988	10.5	9,330	12.1	-	98.3
	(期末)2020年6月17日	3,119	15.4	9,807	17.9	-	97.7
第89期	(期首)2020年6月17日	3,079	-	9,807	-	-	97.7
	6月末	3,067	△ 0.4	9,601	△ 2.1	-	98.3
	(期末)2020年7月17日	3,203	4.0	10,060	2.6	-	98.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020.1.18~2020.7.17)

■ オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は下落しました。

オーストラリア株式市況は、当作成期首から2020年2月中旬にかけては、米中通商協議で第1段階の合意に達したことや中東情勢の緊迫感が後退したことなどから、底堅く推移して始まりまして。2月中旬に入ると、新型コロナウイルスの感染が世界各地に拡大する中、その対策として欧米を中心に都市封鎖などの厳しい行動制限措置がとられた結果、世界経済の減速懸念が急速に強まったことで大幅に下落しました。さらに、原油価格が急落したことなども、投資家心理を冷やしました。4月以降は、欧米やオーストラリアで感染拡大ペースに鈍化の兆しが見られたこと、また各国政府や中央銀行による景気対策および金融緩和策への期待感などを背景に、主要各国の株式市況が上昇基調に転じる中、オーストラリア株式市況も上昇しました。

■ 為替相場

豪ドルは対円で下落しました。

当作成期首から2020年3月中旬にかけての豪ドル対円為替相場は、オーストラリアにおける大規模な森林火災が同国の財政赤字に影響するとの懸念が高まったことや、新型コロナウイルスの感染が拡大し世界経済の減速懸念が急速に強まったことから、大幅に下落しました。その後は、新型コロナウイルスの感染拡大のペースに鈍化の兆しが見られ、欧米を中心に経済封鎖緩和の動きが広がったほか、オーストラリアのモリソン首相が都市封鎖を緩和する方針を示したことなどが好感され、豪ドルは上昇基調に転じました。米国で市場予想を上回る経済指標の発表があったことや、ワクチン開発への期待が高まったことなども、相場の押し上げ要因となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2020.1.18~2020.7.17)

■当ファンド

オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

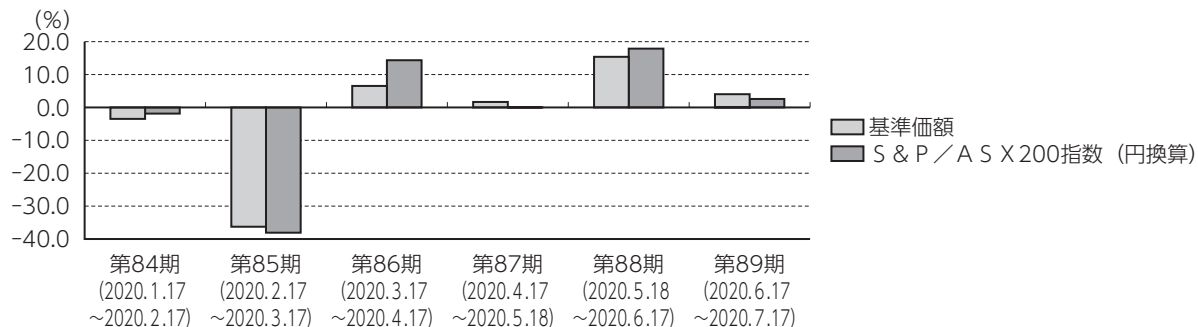
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しています。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2020年1月18日 ～2020年2月17日	2020年2月18日 ～2020年3月17日	2020年3月18日 ～2020年4月17日	2020年4月18日 ～2020年5月18日	2020年5月19日 ～2020年6月17日	2020年6月18日 ～2020年7月17日
当期分配金（税込み）（円）	40	40	40	40	40	40
対基準価額比率（%）	0.97	1.53	1.46	1.46	1.28	1.25
当期の収益（円）	40	37	29	30	34	34
当期の収益以外（円）	—	2	10	9	5	5
翌期繰越分配対象額（円）	485	483	473	463	458	452

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 41.77円	✓ 37.65円	✓ 29.37円	✓ 30.65円	✓ 34.11円	✓ 34.84円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	466.22	466.27	466.32	✓ 466.34	✓ 463.89	✓ 458.05
(d) 分配準備積立金	17.98	✓ 19.71	✓ 17.32	✓ 6.68	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	525.98	523.64	513.02	503.68	498.01	492.89
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	485.98	483.64	473.02	463.68	458.01	452.89

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第84期～第89期 (2020.1.18～2020.7.17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	21円	0.670%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3,203円です。
(投 信 会 社)	(7)	(0.218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(14)	(0.437)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	22	0.673	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

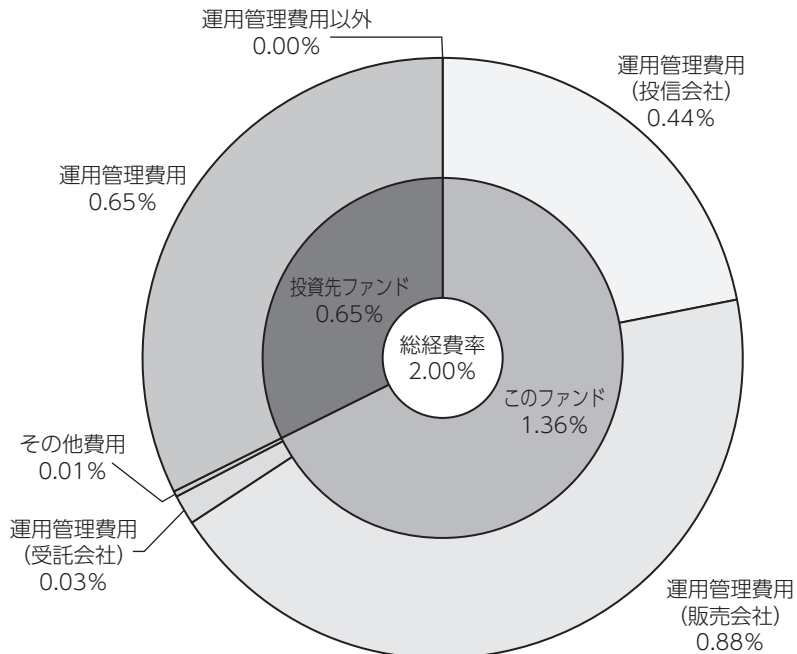
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.00%です。



総経費率 (①+②+③)	2.00%
①このファンドの費用の比率	1.36%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.65%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年1月18日から2020年7月17日まで)

決算期	第 84 期 ~ 第 89 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
外国（邦貨建）	323.21234	10,908	357.04179	11,166

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2020年1月18日から2020年7月17日まで)

第 84 期				~	第 89 期			
買 付				売 付				
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	
	千□	千円	円		千□	千円	円	
AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (EQUITY ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	28.12643	800	28	AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (EQUITY ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	357.04179	11,166	31	

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファ ン ド 名	第 89 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千□	千円	%
AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (EQUITY ALPHA CLASS)	4,105.53419	141,899	98.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 89 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	98	98	99

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年7月17日現在

項 目	第 89 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 141,899	% 96.9
ダイワ・マネー・マザーファンド	99	0.1
コール・ローン等、その他	4,403	3.0
投資信託財産総額	146,403	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年2月17日)、(2020年3月17日)、(2020年4月17日)、(2020年5月18日)、(2020年6月17日)、(2020年7月17日)現在

項目	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末
(A) 資産	188,748,432円	119,447,427円	124,645,578円	125,274,593円	144,356,752円	146,403,284円
コール・ローン等	3,836,004	4,846,248	4,282,099	3,905,309	5,175,529	4,403,814
投資信託受益証券(評価額)	184,812,527	114,501,278	120,263,578	121,269,383	139,081,331	141,899,578
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	99,901	99,901	99,901	99,901	99,892	99,892
(B) 負債	2,042,498	2,867,967	1,956,968	1,972,271	2,008,255	1,990,416
未払収益分配金	1,823,766	1,814,153	1,818,999	1,824,673	1,849,383	1,826,351
未払解約金	-	871,500	-	-	-	-
未払信託報酬	217,425	179,925	134,771	143,536	153,886	158,133
その他未払費用	1,307	2,389	3,198	4,062	4,986	5,932
(C) 純資産総額(A-B)	186,705,934	116,579,460	122,688,610	123,302,322	142,348,497	144,412,868
元本	455,941,647	453,538,403	454,749,919	456,168,385	462,345,876	456,587,853
次期繰越増益金	△269,235,713	△336,958,943	△332,061,309	△332,866,063	△319,997,379	△312,174,985
(D) 受益権総口数	455,941,647口	453,538,403口	454,749,919口	456,168,385口	462,345,876口	456,587,853口
1万口当り基準価額(C/D)	4,095円	2,570円	2,698円	2,703円	3,079円	3,163円

*第83期末における元本額は454,584,041円、当作成期間(第84期~第89期)中における追加設定元本額は15,013,047円、同解約元本額は13,009,235円です。

*第89期末の計算口数当りの純資産額は3,163円です。

*第89期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は312,174,985円です。

■損益の状況

第84期 自2020年1月18日 至2020年2月17日 第87期 自2020年4月18日 至2020年5月18日
 第85期 自2020年2月18日 至2020年3月17日 第88期 自2020年5月19日 至2020年6月17日
 第86期 自2020年3月18日 至2020年4月17日 第89期 自2020年6月18日 至2020年7月17日

項目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(A) 配当等収益	2,123,446円	1,888,969円	1,359,698円	1,496,840円	1,590,217円	1,635,787円
受取配当金	2,123,494	1,889,020	1,359,755	1,496,901	1,590,332	1,635,868
受取利息	-	-	2	-	-	2
支払利息	△ 48	△ 51	△ 59	△ 61	△ 115	△ 83
(B) 有価証券売買損益	△ 8,673,758	△ 69,030,581	6,396,427	702,856	17,615,590	4,181,207
売買益	-	379,482	6,396,529	702,857	17,617,319	4,180,105
売買損	△ 8,673,758	△ 69,410,063	△ 102	△ 1	△ 1,729	1,102
(C) 信託報酬等	△ 218,732	△ 181,007	△ 135,580	△ 144,400	△ 154,812	△ 159,082
(D) 当期損益(A+B+C)	△ 6,769,044	△ 67,322,619	7,620,545	2,055,296	19,050,995	5,657,912
(E) 前期繰越増益金	△142,010,832	△149,499,383	△218,536,065	△212,734,519	△212,361,077	△190,923,996
(F) 追加信託差損益金	△118,632,071	△118,322,788	△119,326,790	△120,362,167	△124,837,914	△125,082,550
(配当等相当額)	(21,257,080)	(21,147,155)	(21,206,159)	(21,273,398)	(21,447,945)	(20,914,101)
(売買損益相当額)	(△139,889,151)	(△139,469,943)	(△140,532,949)	(△141,635,565)	(△146,285,859)	(△145,996,651)
(G) 合計(D+E+F)	△267,411,947	△335,144,790	△330,242,310	△331,041,390	△318,147,996	△310,348,634
(H) 収益分配金	△ 1,823,766	△ 1,814,153	△ 1,818,999	△ 1,824,673	△ 1,849,383	△ 1,826,351
次期繰越増益金(G+H)	△269,235,713	△336,958,943	△332,061,309	△332,866,063	△319,997,379	△312,174,985
追加信託差損益金	△118,632,071	△118,322,788	△119,326,790	△120,483,515	△125,109,900	△125,317,848
(配当等相当額)	(21,257,080)	(21,147,155)	(21,206,159)	(21,152,050)	(21,175,959)	(20,678,803)
(売買損益相当額)	(△139,889,151)	(△139,469,943)	(△140,532,949)	(△141,635,565)	(△146,285,859)	(△145,996,651)
分配準備積立金	900,976	788,178	304,749	-	-	-
繰越増益金	△151,504,618	△219,424,333	△213,039,268	△212,382,548	△194,887,479	△186,857,137

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 84 期	第 85 期	第 86 期	第 87 期	第 88 期	第 89 期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,904,714円	1,707,961円	1,335,931円	1,398,576円	1,577,397円	1,591,053円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	21,257,080	21,147,155	21,206,159	21,273,398	21,447,945	20,914,101
(d) 分配準備積立金	820,028	894,370	787,817	304,749	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	23,981,822	23,749,486	23,329,907	22,976,723	23,025,342	22,505,154
(f) 分配金	1,823,766	1,814,153	1,818,999	1,824,673	1,849,383	1,826,351
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	22,158,056	21,935,333	21,510,908	21,152,050	21,175,959	20,678,803
(h) 受益権総口数	455,941,647口	453,538,403口	454,749,919口	456,168,385口	462,345,876口	456,587,853口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 84 期	第 85 期	第 86 期	第 87 期	第 88 期	第 89 期
1 万口当り分配金	40円	40円	40円	40円	40円	40円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

通貨αコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P / A S X 200 指数 (円換算)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配) 円	税金 込み 分配 円	期中 騰落 率 %	(参考指数)	期中 騰落 率 %	(参考指数)	期中 騰落 率 %			
60期末(2018年2月19日)	7,356	90	△ 6.8	11,118	△ 6.8	84.26	△ 4.5	—	98.3	595
61期末(2018年3月19日)	7,257	90	△ 0.1	10,873	△ 2.2	81.78	△ 2.9	—	95.5	614
62期末(2018年4月17日)	7,021	90	△ 2.0	10,881	0.1	83.35	1.9	—	97.5	606
63期末(2018年5月17日)	7,101	90	2.4	11,325	4.1	82.98	△ 0.4	—	96.9	658
64期末(2018年6月18日)	7,032	90	0.3	11,196	△ 1.1	82.21	△ 0.9	—	97.1	657
65期末(2018年7月17日)	7,116	90	2.5	11,626	3.8	83.35	1.4	—	96.0	754
66期末(2018年8月17日)	7,018	90	△ 0.1	11,386	△ 2.1	80.51	△ 3.4	—	98.5	795
67期末(2018年9月18日)	6,766	90	△ 2.3	11,072	△ 2.8	80.10	△ 0.5	—	97.8	799
68期末(2018年10月17日)	6,325	90	△ 5.2	10,530	△ 4.9	80.27	0.2	—	98.4	758
69期末(2018年11月19日)	6,248	90	0.2	10,566	0.3	82.50	2.8	—	97.4	776
70期末(2018年12月17日)	6,013	90	△ 2.3	10,186	△ 3.6	81.36	△ 1.4	—	98.6	835
71期末(2019年1月17日)	5,915	90	△ 0.1	10,186	0.0	78.11	△ 4.0	—	98.6	814
72期末(2019年2月18日)	6,033	90	3.5	10,714	5.2	79.03	1.2	—	99.1	857
73期末(2019年3月18日)	6,196	90	4.2	10,913	1.9	79.08	0.1	—	98.1	960
74期末(2019年4月17日)	6,230	90	2.0	11,269	3.3	80.33	1.6	—	98.4	991
75期末(2019年5月17日)	5,999	90	△ 2.3	10,714	△ 4.9	75.76	△ 5.7	—	98.4	943
76期末(2019年6月17日)	6,044	90	2.3	10,946	2.2	74.73	△ 1.4	—	98.4	904
77期末(2019年7月17日)	6,071	90	1.9	11,281	3.1	76.01	1.7	—	98.3	987
78期末(2019年8月19日)	5,578	90	△ 6.6	10,328	△ 8.4	72.15	△ 5.1	—	98.4	931
79期末(2019年9月17日)	5,947	90	8.2	11,074	7.2	74.25	2.9	—	98.4	1,007
80期末(2019年10月17日)	5,831	90	△ 0.4	11,112	0.3	73.81	△ 0.6	—	99.2	996
81期末(2019年11月18日)	5,901	60	2.2	11,266	1.4	74.20	0.5	—	98.4	980
82期末(2019年12月17日)	5,970	60	2.2	11,527	2.3	75.30	1.5	—	98.4	952
83期末(2020年1月17日)	6,046	60	2.3	11,973	3.9	76.08	1.0	—	98.4	923
84期末(2020年2月17日)	5,918	60	△ 1.1	11,749	△ 1.9	73.73	△ 3.1	—	98.1	899
85期末(2020年3月17日)	3,641	60	△ 37.5	7,275	△ 38.1	65.08	△ 11.7	—	98.0	555
86期末(2020年4月17日)	3,850	60	7.4	8,319	14.4	68.73	5.6	—	98.0	540
87期末(2020年5月18日)	3,843	60	1.4	8,320	0.0	68.88	0.2	—	98.4	541
88期末(2020年6月17日)	4,302	60	13.5	9,807	17.9	73.85	7.2	—	97.8	605
89期末(2020年7月17日)	4,413	60	4.0	10,060	2.6	74.89	1.4	—	98.5	624

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

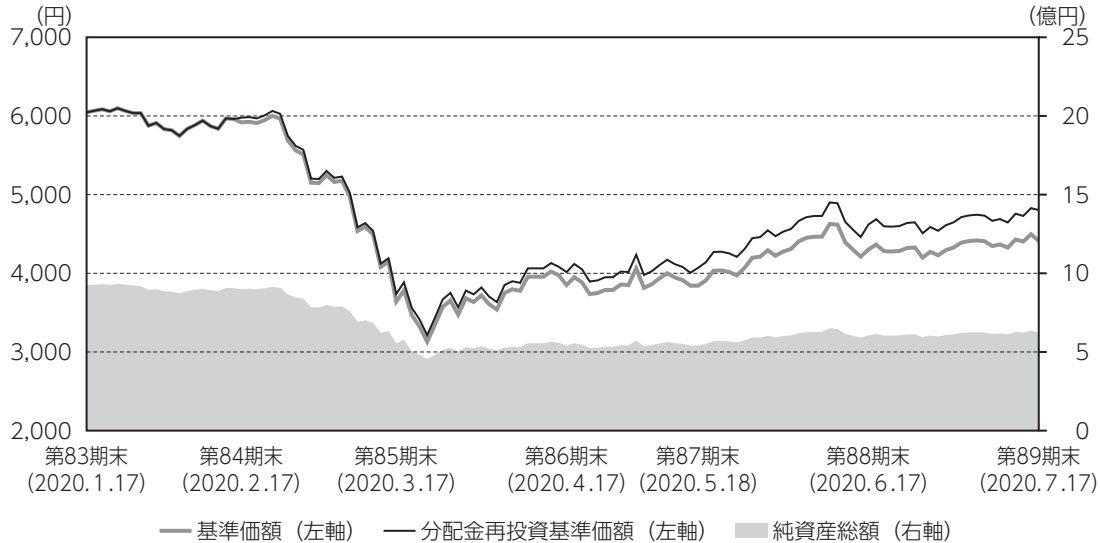
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第84期首：6,046円

第89期末：4,413円（既払分配金360円）

騰落率：△20.6%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

主にオーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）に投資した結果、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）の下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）については、オーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株価が下落したことや豪ドルが対円で下落（円高）したことがマイナス要因となり、下落しました。通貨オプション取引については、豪ドルの対円レートは当作成期を通して見ると下落したものの、下落期間より上昇期間の方が長く、下落期間におけるオプション要因のプラス効果より上昇期間でのマイナス要因の蓄積が大きくなったため、当作成期を通して見るとマイナスに働きました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）

ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A	S X 200	豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	騰 落 率	指 数 (参考指数)	(円 換 算) 騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第84期	(期首)2020年1月17日	円 6,046	% -	11,973	% -	円 76.08	% -	% -	% 98.4
	1月末	5,833	△ 3.5	11,479	△ 4.1	73.29	△ 3.7	-	98.9
	(期末)2020年2月17日	5,978	△ 1.1	11,749	△ 1.9	73.73	△ 3.1	-	98.1
第85期	(期首)2020年2月17日	5,918	-	11,749	-	73.73	-	-	98.1
	2月末	5,514	△ 6.8	10,704	△ 8.9	71.94	△ 2.4	-	97.8
	(期末)2020年3月17日	3,701	△37.5	7,275	△38.1	65.08	△11.7	-	98.0
第86期	(期首)2020年3月17日	3,641	-	7,275	-	65.08	-	-	98.0
	3月末	3,682	1.1	7,653	5.2	66.09	1.6	-	97.9
	(期末)2020年4月17日	3,910	7.4	8,319	14.4	68.73	5.6	-	98.0
第87期	(期首)2020年4月17日	3,850	-	8,319	-	68.73	-	-	98.0
	4月末	3,851	0.0	8,418	1.2	69.84	1.6	-	98.5
	(期末)2020年5月18日	3,903	1.4	8,320	0.0	68.88	0.2	-	98.4
第88期	(期首)2020年5月18日	3,843	-	8,320	-	68.88	-	-	98.4
	5月末	4,292	11.7	9,330	12.1	71.35	3.6	-	98.9
	(期末)2020年6月17日	4,362	13.5	9,807	17.9	73.85	7.2	-	97.8
第89期	(期首)2020年6月17日	4,302	-	9,807	-	73.85	-	-	97.8
	6月末	4,228	△ 1.7	9,601	△ 2.1	73.88	0.0	-	98.3
	(期末)2020年7月17日	4,473	4.0	10,060	2.6	74.89	1.4	-	98.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020.1.18~2020.7.17)

■ オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は下落しました。

オーストラリア株式市況は、当作成期首から2020年2月中旬にかけては、米中通商協議で第1段階の合意に達したことや中東情勢の緊迫感が後退したことなどから、底堅く推移して始まりまして。2月中旬に入ると、新型コロナウイルスの感染が世界各地に拡大する中、その対策として欧米を中心に都市封鎖などの厳しい行動制限措置がとられた結果、世界経済の減速懸念が急速に強まったことで大幅に下落しました。さらに、原油価格が急落したことなども、投資家心理を冷やしました。4月以降は、欧米やオーストラリアで感染拡大ペースに鈍化の兆しが見られたこと、また各国政府や中央銀行による景気対策および金融緩和策への期待感などを背景に、主要各国の株式市況が上昇基調に転じる中、オーストラリア株式市況も上昇しました。

■ 為替相場

豪ドルは対円で下落しました。

当作成期首から2020年3月中旬にかけての豪ドル対円為替相場は、オーストラリアにおける大規模な森林火災が同国の財政赤字に影響するとの懸念が高まったことや、新型コロナウイルスの感染が拡大し世界経済の減速懸念が急速に強まったことから、大幅に下落しました。その後は、新型コロナウイルスの感染拡大のペースに鈍化の兆しが見られ、欧米を中心に経済封鎖緩和の動きが広がったほか、オーストラリアのモリソン首相が都市封鎖を緩和する方針を示したことなどが好感され、豪ドルは上昇基調に転じました。米国で市場予想を上回る経済指標の発表があったことや、ワクチン開発への期待が高まったことなども、相場の押し上げ要因となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2020.1.18~2020.7.17)

■当ファンド

オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

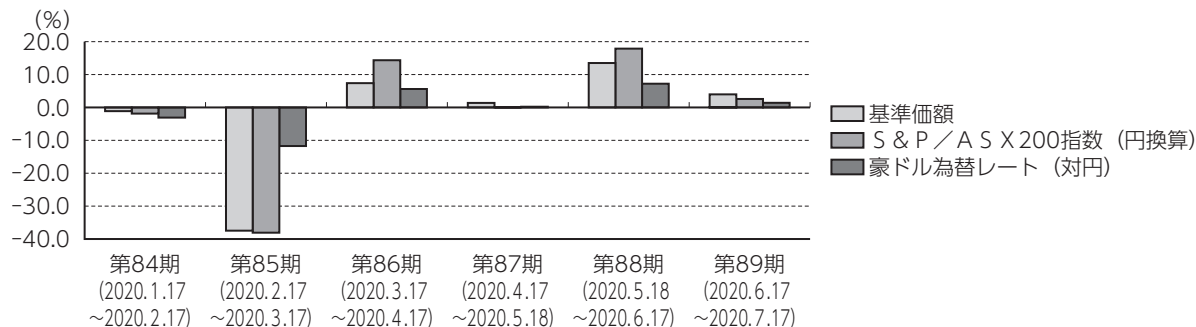
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しています。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2020年1月18日 ～2020年2月17日	2020年2月18日 ～2020年3月17日	2020年3月18日 ～2020年4月17日	2020年4月18日 ～2020年5月18日	2020年5月19日 ～2020年6月17日	2020年6月18日 ～2020年7月17日
当期分配金（税込み）（円）	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率（%）	1.00	1.62	1.53	1.54	1.38	1.34
当期の収益（円）	60	52	41	43	48	48
当期の収益以外（円）	—	7	18	17	11	11
翌期繰越分配対象額（円）	961	954	936	919	908	896

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 60.41円	✓ 52.85円	✓ 41.93円	✓ 42.99円	✓ 48.59円	✓ 48.28円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	947.25	947.49	✓ 947.53	✓ 936.32	✓ 919.59	✓ 908.19
(d) 分配準備積立金	13.69	✓ 14.04	✓ 6.85	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,021.36	1,014.38	996.32	979.32	968.18	956.47
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	961.36	954.38	936.32	919.32	908.18	896.47

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（通貨 α クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（通貨 α クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株 α ・ファンド（通貨 α クラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第84期～第89期 (2020.1.18～2020.7.17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	30円	0.671%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4,541円です。
(投 信 会 社)	(10)	(0.218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(20)	(0.437)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	31	0.675	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

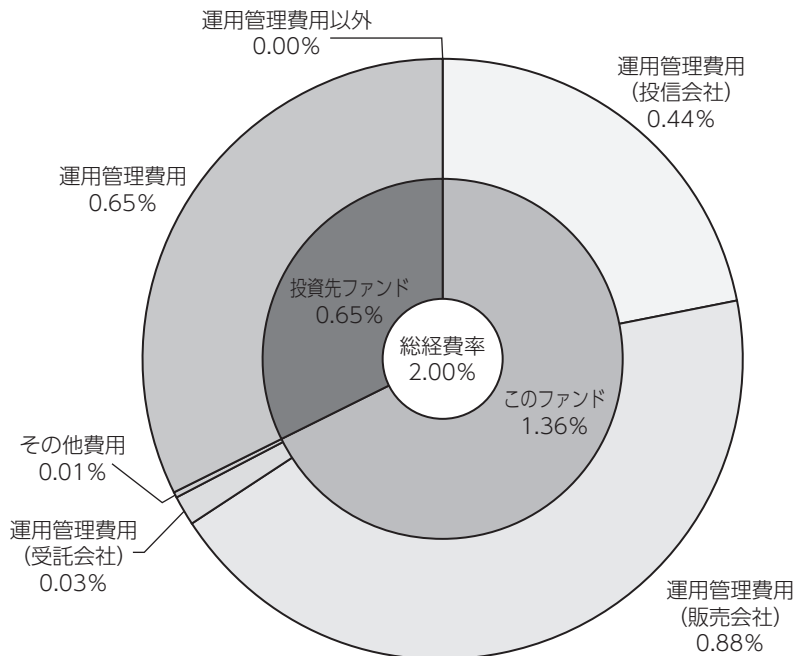
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.00%です。



総経費率 (①+②+③)	2.00%
①このファンドの費用の比率	1.36%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.65%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年1月18日から2020年7月17日まで)

決算期	第 84 期 ~ 第 89 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
外国（邦貨建）	1,220.07875	55,124	2,484.23282	102,291

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2020年1月18日から2020年7月17日まで)

第 84 期				~	第 89 期			
買 付				売 付				
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	
	千□	千円	円		千□	千円	円	
AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (CURRENCY ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	222.58404	9,300	41	AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (CURRENCY ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	2,484.23282	102,291	41	

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 89 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (CURRENCY ALPHA CLASS)	千□ 13,451.73051	千円 614,703	% 98.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 89 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千□ 98	千□ 98	千円 99

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年7月17日現在

項 目	第 89 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 614,703	% 97.0
ダイワ・マネー・マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	18,769	3.0
投資信託財産総額	633,573	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年2月17日)、(2020年3月17日)、(2020年4月17日)、(2020年5月18日)、(2020年6月17日)、(2020年7月17日)現在

項目	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末
(A) 資産	909,566,496円	565,579,682円	549,862,988円	550,263,855円	614,611,582円	633,573,146円
コール・ローン等	27,581,708	20,855,001	19,691,134	17,788,006	22,217,219	18,769,525
投資信託受益証券(評価額)	881,884,887	544,624,780	530,071,953	532,375,948	592,294,471	614,703,729
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	99,901	99,901	99,901	99,901	99,892	99,892
(B) 負債	10,163,796	10,027,345	9,048,117	9,097,620	9,139,934	9,198,134
未払収益分配金	9,118,353	9,156,019	8,427,901	8,449,100	8,445,157	8,489,867
未払解約金	-	-	-	-	6,432	-
未払信託報酬	1,039,121	859,776	604,989	629,461	665,230	681,038
その他未払費用	6,322	11,550	15,227	19,059	23,115	27,229
(C) 純資産総額(A-B)	899,402,700	555,552,337	540,814,871	541,166,235	605,471,648	624,375,012
元本	1,519,725,614	1,526,003,327	1,404,650,268	1,408,183,477	1,407,526,282	1,414,977,900
次期繰越増益金	△ 620,322,914	△ 970,450,990	△ 863,835,397	△ 867,017,242	△ 802,054,634	△ 790,602,888
(D) 受益権総口数	1,519,725,614口	1,526,003,327口	1,404,650,268口	1,408,183,477口	1,407,526,282口	1,414,977,900口
1万口当り基準価額(C/D)	5,918円	3,641円	3,850円	3,843円	4,302円	4,413円

* 第83期末における元本額は1,527,886,139円、当作成期間（第84期～第89期）中における追加設定元本額は42,419,990円、同解約元本額は155,328,229円です。

* 第89期末の計算口数当りの純資産額は4,413円です。

* 第89期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は790,602,888円です。

■損益の状況

第84期 自2020年1月18日 至2020年2月17日 第87期 自2020年4月18日 至2020年5月18日
 第85期 自2020年2月18日 至2020年3月17日 第88期 自2020年5月19日 至2020年6月17日
 第86期 自2020年3月18日 至2020年4月17日 第89期 自2020年6月18日 至2020年7月17日

項目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(A) 配当等収益	10,227,341円	8,930,364円	5,984,586円	6,570,369円	6,903,673円	7,025,151円
受取配当金	10,227,540	8,930,992	5,984,964	6,570,692	6,904,092	7,025,512
受取利息	-	-	16	-	1	12
支払利息	△ 199	△ 628	△ 394	△ 323	△ 420	△ 373
(B) 有価証券売買損益	△ 19,531,931	△ 346,120,584	32,534,638	1,505,884	66,260,683	17,858,268
売買益	34,768	69,480	34,939,671	1,505,886	66,943,490	17,858,267
売買損	△ 19,566,699	△ 346,190,064	△ 2,405,033	△ 2	△ 682,807	1
(C) 信託報酬等	△ 1,045,443	△ 865,004	△ 608,666	△ 633,297	△ 669,297	△ 685,176
(D) 当期損益(A+B+C)	△ 10,350,033	△ 338,055,224	37,910,558	7,442,956	72,495,059	24,198,243
(E) 前期繰越増益金	△ 170,720,500	△ 190,076,946	△ 491,336,214	△ 460,278,089	△ 454,670,018	△ 389,006,828
(F) 追加信託差損益金	△ 430,134,028	△ 433,162,801	△ 401,981,840	△ 405,733,009	△ 411,434,518	△ 417,304,436
(配当等相当額)	(143,956,453)	(144,587,414)	(133,095,775)	(131,851,500)	(129,434,793)	(128,507,089)
(売買損益相当額)	(△574,090,481)	(△577,750,215)	(△535,077,615)	(△537,584,509)	(△540,869,311)	(△545,811,525)
(G) 合計(D+E+F)	△ 611,204,561	△ 961,294,971	△ 855,407,496	△ 858,568,142	△ 793,609,477	△ 782,113,021
(H) 収益分配金	△ 9,118,353	△ 9,156,019	△ 8,427,901	△ 8,449,100	△ 8,445,157	△ 8,489,867
次期繰越増益金(G+H)	△ 620,322,914	△ 970,450,990	△ 863,835,397	△ 867,017,242	△ 802,054,634	△ 790,602,888
追加信託差損益金	△ 430,134,028	△ 433,162,801	△ 403,557,308	△ 408,126,927	△ 413,039,186	△ 418,962,577
(配当等相当額)	(143,956,453)	(144,587,414)	(131,520,307)	(129,457,582)	(127,830,125)	(126,848,948)
(売買損益相当額)	(△574,090,481)	(△577,750,215)	(△535,077,615)	(△537,584,509)	(△540,869,311)	(△545,811,525)
分配準備積立金	2,144,367	1,052,444	-	-	-	-
繰越増益金	△ 192,333,253	△ 538,340,633	△ 460,278,089	△ 458,890,315	△ 389,015,448	△ 371,640,311

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 84 期	第 85 期	第 86 期	第 87 期	第 88 期	第 89 期
(a) 経費控除後の配当等収益	9,181,898円	8,065,358円	5,889,999円	6,055,182円	6,840,489円	6,831,726円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	143,956,453	144,587,414	133,095,775	131,851,500	129,434,793	128,507,089
(d) 分配準備積立金	2,080,822	2,143,105	962,434	0	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	155,219,173	154,795,877	139,948,208	137,906,682	136,275,282	135,338,815
(f) 分配金	9,118,353	9,156,019	8,427,901	8,449,100	8,445,157	8,489,867
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	146,100,820	145,639,858	131,520,307	129,457,582	127,830,125	126,848,948
(h) 受益権総口数	1,519,725,614口	1,526,003,327口	1,404,650,268口	1,408,183,477口	1,407,526,282口	1,414,977,900口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 84 期	第 85 期	第 86 期	第 87 期	第 88 期	第 89 期
1 万 口 当 り 分 配 金	60円	60円	60円	60円	60円	60円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

株式&通貨ツインαコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P / A S X 200 指数 (円換算)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
60期末(2018年2月19日)	3,957	70	△ 6.0	11,118	△ 6.8	84.26	△ 4.5	—	98.5	14,650
61期末(2018年3月19日)	3,886	70	△ 0.0	10,873	△ 2.2	81.78	△ 2.9	—	98.6	14,198
62期末(2018年4月17日)	3,764	70	△ 1.3	10,881	0.1	83.35	1.9	—	99.3	13,665
63期末(2018年5月17日)	3,751	70	1.5	11,325	4.1	82.98	△ 0.4	—	98.5	13,375
64期末(2018年6月18日)	3,678	70	△ 0.1	11,196	△ 1.1	82.21	△ 0.9	—	98.7	13,222
65期末(2018年7月17日)	3,671	70	1.7	11,626	3.8	83.35	1.4	—	98.5	13,217
66期末(2018年8月17日)	3,583	70	△ 0.5	11,386	△ 2.1	80.51	△ 3.4	—	98.8	12,845
67期末(2018年9月18日)	3,469	70	△ 1.2	11,072	△ 2.8	80.10	△ 0.5	—	99.9	12,332
68期末(2018年10月17日)	3,290	45	△ 3.9	10,530	△ 4.9	80.27	0.2	—	98.2	11,865
69期末(2018年11月19日)	3,254	45	0.3	10,566	0.3	82.50	2.8	—	98.2	11,494
70期末(2018年12月17日)	3,149	45	△ 1.8	10,186	△ 3.6	81.36	△ 1.4	—	97.9	11,088
71期末(2019年1月17日)	3,075	45	△ 0.9	10,186	0.0	78.11	△ 4.0	—	98.6	10,799
72期末(2019年2月18日)	3,108	45	2.5	10,714	5.2	79.03	1.2	—	98.2	10,866
73期末(2019年3月18日)	3,142	45	2.5	10,913	1.9	79.08	0.1	—	98.9	10,602
74期末(2019年4月17日)	3,161	45	2.0	11,269	3.3	80.33	1.6	—	98.4	10,560
75期末(2019年5月17日)	3,047	45	△ 2.2	10,714	△ 4.9	75.76	△ 5.7	—	98.4	10,104
76期末(2019年6月17日)	3,014	45	0.4	10,946	2.2	74.73	△ 1.4	—	98.6	9,942
77期末(2019年7月17日)	3,026	45	1.9	11,281	3.1	76.01	1.7	—	98.4	9,964
78期末(2019年8月19日)	2,793	45	△ 6.2	10,328	△ 8.4	72.15	△ 5.1	—	98.5	9,146
79期末(2019年9月17日)	2,938	45	6.8	11,074	7.2	74.25	2.9	—	98.7	9,434
80期末(2019年10月17日)	2,896	45	0.1	11,112	0.3	73.81	△ 0.6	—	99.3	9,099
81期末(2019年11月18日)	2,918	30	1.8	11,266	1.4	74.20	0.5	—	98.7	9,024
82期末(2019年12月17日)	2,943	30	1.9	11,527	2.3	75.30	1.5	—	98.5	8,844
83期末(2020年1月17日)	2,968	30	1.9	11,973	3.9	76.08	1.0	—	98.7	8,771
84期末(2020年2月17日)	2,878	30	△ 2.0	11,749	△ 1.9	73.73	△ 3.1	—	98.7	8,266
85期末(2020年3月17日)	1,828	30	△ 35.4	7,275	△ 38.1	65.08	△ 11.7	—	97.9	5,155
86期末(2020年4月17日)	1,927	30	7.1	8,319	14.4	68.73	5.6	—	99.5	5,322
87期末(2020年5月18日)	1,933	30	1.9	8,320	0.0	68.88	0.2	—	98.4	5,316
88期末(2020年6月17日)	2,087	30	9.5	9,807	17.9	73.85	7.2	—	98.5	5,659
89期末(2020年7月17日)	2,144	30	4.2	10,060	2.6	74.89	1.4	—	98.6	5,740

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

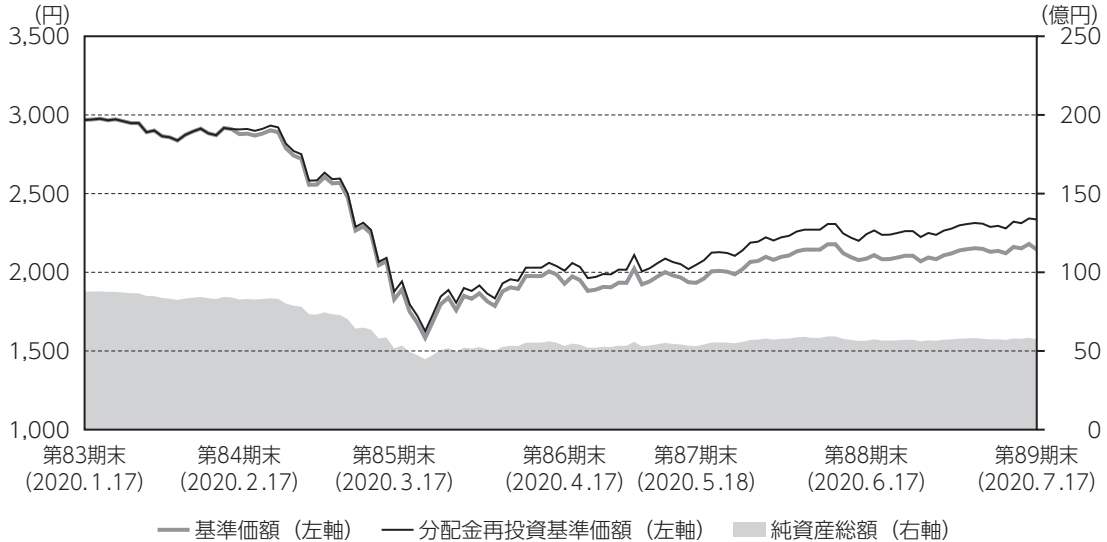
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第84期首：2,968円

第89期末：2,144円（既払分配金180円）

騰落率：△21.3%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

主にオーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）に投資した結果、オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）の下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）については、オーストラリア株式への投資と株式および通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株価が下落したことや豪ドルが対円で下落（円高）したことがマイナス要因となり、下落しました。オプション取引については、株価や豪ドルの対円レートは当作成期を通して見ると下落したものの、いずれも下落期間より上昇期間の方が長く、下落期間におけるオプション要因のプラス効果より上昇期間でのマイナス要因の蓄積が大きくなったため、当作成期を通して見ると株式オプション、通貨オプションともにマイナスに働きました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II—ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）

ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A	S X 200	豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	騰 落 率	指 数 (参考指数)	指 数 (参考指数)	騰 落 率	騰 落 率		
第84期	(期首)2020年1月17日	円 2,968	% -	11,973	% -	円 76.08	% -	% -	% 98.7
	1月末	2,865	△ 3.5	11,479	△ 4.1	73.29	△ 3.7	-	99.9
	(期末)2020年2月17日	2,908	△ 2.0	11,749	△ 1.9	73.73	△ 3.1	-	98.7
第85期	(期首)2020年2月17日	2,878	-	11,749	-	73.73	-	-	98.7
	2月末	2,722	△ 5.4	10,704	△ 8.9	71.94	△ 2.4	-	98.7
	(期末)2020年3月17日	1,858	△35.4	7,275	△38.1	65.08	△11.7	-	97.9
第86期	(期首)2020年3月17日	1,828	-	7,275	-	65.08	-	-	97.9
	3月末	1,850	1.2	7,653	5.2	66.09	1.6	-	98.1
	(期末)2020年4月17日	1,957	7.1	8,319	14.4	68.73	5.6	-	99.5
第87期	(期首)2020年4月17日	1,927	-	8,319	-	68.73	-	-	99.5
	4月末	1,933	0.3	8,418	1.2	69.84	1.6	-	98.7
	(期末)2020年5月18日	1,963	1.9	8,320	0.0	68.88	0.2	-	98.4
第88期	(期首)2020年5月18日	1,933	-	8,320	-	68.88	-	-	98.4
	5月末	2,098	8.5	9,330	12.1	71.35	3.6	-	98.3
	(期末)2020年6月17日	2,117	9.5	9,807	17.9	73.85	7.2	-	98.5
第89期	(期首)2020年6月17日	2,087	-	9,807	-	73.85	-	-	98.5
	6月末	2,083	△ 0.2	9,601	△ 2.1	73.88	0.0	-	98.6
	(期末)2020年7月17日	2,174	4.2	10,060	2.6	74.89	1.4	-	98.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020.1.18~2020.7.17)

■ オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は下落しました。

オーストラリア株式市況は、当作成期首から2020年2月中旬にかけては、米中通商協議で第1段階の合意に達したことや中東情勢の緊迫感が後退したことなどから、底堅く推移して始まりまして。2月中旬に入ると、新型コロナウイルスの感染が世界各地に拡大する中、その対策として欧米を中心に都市封鎖などの厳しい行動制限措置がとられた結果、世界経済の減速懸念が急速に強まったことで大幅に下落しました。さらに、原油価格が急落したことなども、投資家心理を冷やしました。4月以降は、欧米やオーストラリアで感染拡大ペースに鈍化の兆しが見られたこと、また各国政府や中央銀行による景気対策および金融緩和策への期待感などを背景に、主要各国の株式市況が上昇基調に転じる中、オーストラリア株式市況も上昇しました。

■ 為替相場

豪ドルは対円で下落しました。

当作成期首から2020年3月中旬にかけての豪ドル対円為替相場は、オーストラリアにおける大規模な森林火災が同国の財政黒字に影響するとの懸念が高まったことや、新型コロナウイルスの感染が拡大し世界経済の減速懸念が急速に強まったことから、大幅に下落しました。その後は、新型コロナウイルスの感染拡大のペースに鈍化の兆しが見られ、欧米を中心に経済封鎖緩和の動きが広がったほか、オーストラリアのモリソン首相が都市封鎖を緩和する方針を示したことなどが好感され、豪ドルは上昇基調に転じました。米国で市場予想を上回る経済指標の発表があったことや、ワクチン開発への期待が高まったことなども、相場の押し上げ要因となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせた株式カバードコール戦略に加えて、通貨オプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2020.1.18~2020.7.17)

■当ファンド

オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせた株式カバードコール戦略に加えて、通貨オプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

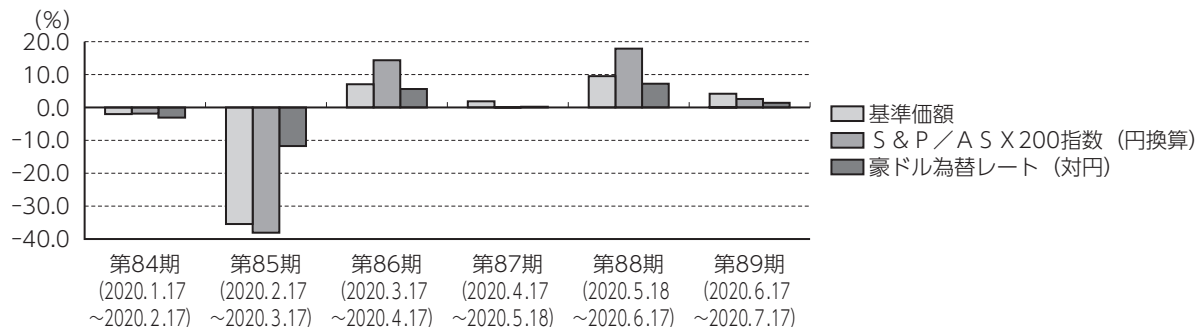
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しています。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2020年1月18日 ～2020年2月17日	2020年2月18日 ～2020年3月17日	2020年3月18日 ～2020年4月17日	2020年4月18日 ～2020年5月18日	2020年5月19日 ～2020年6月17日	2020年6月18日 ～2020年7月17日
当期分配金（税込み）（円）	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率（%）	1.03	1.61	1.53	1.53	1.42	1.38
当期の収益（円）	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	195	206	208	211	216	222

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 45.81円	✓ 41.44円	✓ 31.64円	✓ 33.00円	✓ 35.76円	✓ 35.68円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	55.99	56.52	57.11	57.70	58.41	58.96
(d) 分配準備積立金	123.24	138.54	149.40	150.46	152.79	157.99
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	225.06	236.51	238.16	241.17	246.96	252.65
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	195.06	206.51	208.16	211.17	216.96	222.65

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせた株式カバードコール戦略に加えて、通貨オプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第84期～第89期 (2020.1.18～2020.7.17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	15円	0.670%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2,241円です。
(投 信 会 社)	(5)	(0.218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(10)	(0.437)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.015)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	15	0.673	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

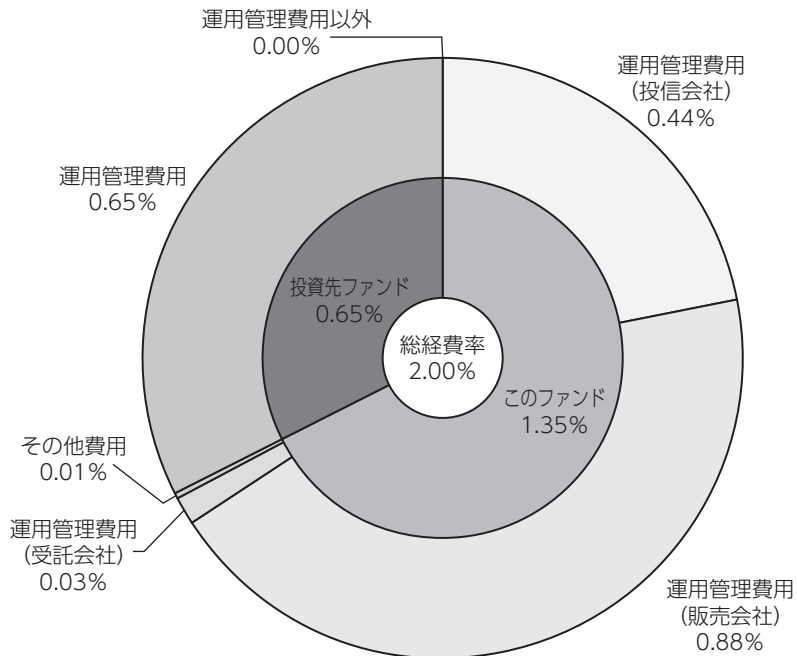
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.00%です。



総経費率 (①+②+③)	2.00%
①このファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.65%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年1月18日から2020年7月17日まで)

決算期	第 84 期 ~ 第 89 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
外国（邦貨建）	28,670,73548	655,195	49,700,49587	1,163,473

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2020年1月18日から2020年7月17日まで)

第 84 期				~	第 89 期			
買 付		売 付		買 付		売 付		
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	
	千□	千円	円		千□	千円	円	
				AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (TWIN ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	49,700,49587	1,163,473	23	

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファ ン ド 名	第 89 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (TWIN ALPHA CLASS)	千□ 256,717,83026	千円 5,659,858	% 98.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 89 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	982	982	998

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年7月17日現在

項 目	第 89 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	5,659,858	97.0
ダイワ・マネー・マザーファンド	998	0.0
コール・ローン等、その他	176,206	3.0
投資信託財産総額	5,837,063	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年2月17日)、(2020年3月17日)、(2020年4月17日)、(2020年5月18日)、(2020年6月17日)、(2020年7月17日)現在

項目	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末
(A) 資産	8,421,982,745円	5,268,669,946円	5,484,588,096円	5,408,590,308円	5,761,153,197円	5,837,063,905円
コール・ローン等	262,037,848	220,513,369	190,008,837	173,305,963	185,214,984	176,206,983
投資信託受益証券(評価額)	8,158,945,879	5,047,157,559	5,293,580,241	5,234,285,327	5,574,939,294	5,659,858,003
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	999,018	999,018	999,018	999,018	998,919	998,919
(B) 負債	155,349,804	112,684,416	162,407,257	91,790,092	101,419,010	96,926,880
未払収益分配金	86,162,893	84,629,907	82,872,484	82,524,110	81,369,232	80,321,777
未払解約金	59,361,169	20,000,119	73,445,815	2,896,500	13,481,290	9,985,431
未払信託報酬	9,766,207	7,946,417	5,944,716	6,187,468	6,347,636	6,360,296
その他未払費用	59,535	107,973	144,242	182,014	220,852	259,376
(C) 純資産総額(A-B)	8,266,632,941	5,155,985,530	5,322,180,839	5,316,800,216	5,659,734,187	5,740,137,025
元本	28,720,964,544	28,209,969,101	27,624,161,473	27,508,036,717	27,123,077,434	26,773,925,706
次期繰越増益金	△20,454,331,603	△23,053,983,571	△22,301,980,634	△22,191,236,501	△21,463,343,247	△21,033,788,681
(D) 受益権総口数	28,720,964,544口	28,209,969,101口	27,624,161,473口	27,508,036,717口	27,123,077,434口	26,773,925,706口
1万口当り基準価額(C/D)	2,878円	1,828円	1,927円	1,933円	2,087円	2,144円

* 第83期末における元本額は29,558,101,774円、当作成期間(第84期~第89期)中における追加設定元本額は615,156,532円、同解約元本額は3,399,332,600円です。

* 第89期末の計算口数当りの純資産額は2,144円です。

* 第89期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は21,033,788,681円です。

■損益の状況

第84期 自2020年1月18日 至2020年2月17日 第87期 自2020年4月18日 至2020年5月18日
 第85期 自2020年2月18日 至2020年3月17日 第88期 自2020年5月19日 至2020年6月17日
 第86期 自2020年3月18日 至2020年4月17日 第89期 自2020年6月18日 至2020年7月17日

項目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(A) 配当等収益	141,424,799円	124,915,955円	88,891,290円	96,472,190円	98,238,206円	98,165,674円
受取配当金	141,426,728	124,920,076	88,894,476	96,475,088	98,242,837	98,168,502
受取利息	12	5	125	9	8	105
支払利息	△ 1,941	△ 4,126	△ 3,311	△ 2,907	△ 4,639	△ 2,933
(B) 有価証券売買損益	△ 301,958,911	△ 2,995,684,045	273,211,733	9,234,031	406,428,085	141,806,042
売買益	7,081,544	22,754,799	278,263,374	11,246,197	414,505,767	142,386,926
売買損	△ 309,040,455	△ 3,018,438,844	△ 5,051,641	△ 2,012,166	△ 8,077,682	△ 580,884
(C) 信託報酬等	△ 9,825,742	△ 7,994,855	△ 5,980,985	△ 6,225,276	△ 6,386,573	△ 6,399,066
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 170,359,854	△ 2,878,762,945	356,122,038	99,480,945	498,279,718	233,572,650
(E) 前期繰越増益金	△11,391,904,044	△11,398,281,614	△14,008,370,994	△13,624,360,832	△13,357,457,953	△12,729,562,931
(F) 追加信託差損益金	△ 8,805,904,812	△ 8,692,309,105	△ 8,566,859,194	△ 8,583,832,504	△ 8,522,795,780	△ 8,457,476,623
(配当等相当額)	(160,831,332)	(159,458,628)	(157,773,513)	(158,741,274)	(158,432,021)	(157,870,639)
(売買損益相当額)	(△ 8,966,736,144)	(△ 8,851,767,733)	(△ 8,724,632,707)	(△ 8,742,573,778)	(△ 8,681,227,801)	(△ 8,615,347,262)
(G) 合計(D+E+F)	△20,368,168,710	△22,969,353,664	△22,219,108,150	△22,108,712,391	△21,381,974,015	△20,953,466,904
(H) 収益分配金	△ 86,162,893	△ 84,629,907	△ 82,872,484	△ 82,524,110	△ 81,369,232	△ 80,321,777
次期繰越増益金(G+H)	△20,454,331,603	△23,053,983,571	△22,301,980,634	△22,191,236,501	△21,463,343,247	△21,033,788,681
追加信託差損益金	△ 8,805,904,812	△ 8,692,309,105	△ 8,566,859,194	△ 8,583,832,504	△ 8,522,795,780	△ 8,457,476,623
(配当等相当額)	(160,831,332)	(159,458,628)	(157,773,513)	(158,741,274)	(158,432,021)	(157,870,639)
(売買損益相当額)	(△ 8,966,736,144)	(△ 8,851,767,733)	(△ 8,724,632,707)	(△ 8,742,573,778)	(△ 8,681,227,801)	(△ 8,615,347,262)
分配準備積立金	399,411,080	423,125,055	417,266,444	422,168,452	430,039,365	438,253,952
繰越増益金	△12,047,837,871	△14,784,799,521	△14,152,387,884	△14,029,572,449	△13,370,586,832	△13,014,566,010

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 84 期	第 85 期	第 86 期	第 87 期	第 88 期	第 89 期
(a) 経費控除後の配当等収益	131,599,045円	116,921,070円	87,422,936円	90,790,973円	96,994,698円	95,547,789円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	160,831,332	159,458,628	157,773,513	158,741,274	158,432,021	157,870,639
(d) 分配準備積立金	353,974,928	390,833,892	412,715,992	413,901,589	414,413,899	423,027,940
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	646,405,305	667,213,590	657,912,441	663,433,836	669,840,618	676,446,368
(f) 分配金	86,162,893	84,629,907	82,872,484	82,524,110	81,369,232	80,321,777
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	560,242,412	582,583,683	575,039,957	580,909,726	588,471,386	596,124,591
(h) 受益権総口数	28,720,964,544口	28,209,969,101口	27,624,161,473口	27,508,036,717口	27,123,077,434口	26,773,925,706口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 84 期	第 85 期	第 86 期	第 87 期	第 88 期	第 89 期
1 万 口 当 り 分 配 金	30円	30円	30円	30円	30円	30円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱーダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド
株式αクラス／通貨αクラス／ツインαクラス

当ファンド（ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型） 株式αコース／通貨αコース／株式&通貨ツインαコース）は、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱーダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド 株式αクラス／通貨αクラス／ツインαクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2020年7月17日時点で入手しうる直近の決算分を掲載しております。

貸借対照表

2019年12月31日

		(円)
資産		
担保付スワップ投資（評価額）（簿価：18,195,747,285円）		9,818,735,869
未収利息		5,744,940
資産計		<u><u>9,824,480,809</u></u>
負債		
未払償還金		110,000,000
未払報酬代行会社報酬		5,744,940
負債計		<u><u>115,744,940</u></u>
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産		<u><u>9,708,735,869</u></u>
帰属先別純資産	ツインαクラス受益証券	8,605,265,139
	通貨αクラス受益証券	912,690,910
	株式αクラス受益証券	<u>190,779,820</u>
発行済受益証券数	ツインαクラス受益証券	276,639,420
	通貨αクラス受益証券	15,001,731
	株式αクラス受益証券	<u>4,132,792</u>
受益証券一口当り純資産	ツインαクラス受益証券	31.106
	通貨αクラス受益証券	60.839
	株式αクラス受益証券	<u>46.162</u>

包括利益計算書

2019年12月31日終了年度

(円)

収入	
損益を通じて公正価値で測定される金融商品による純損益	
手数料収入	2,320,906,985
担保付スワップ投資純損失	(536,653,457)
投資純利益	1,784,253,528
収入計	1,784,253,528
営業費用	72,317,541
営業費用計	72,317,541
金融費用控除前営業損益	1,711,935,987
償還可能受益証券の保有者への分配金	(2,248,589,444)
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産変動額（分配金支払後）	(536,653,457)

当トラストが保有していた担保付スワップ投資

2019年12月31日時点

	簿価 (円)	評価額 (円)
ツインαクラス受益証券	16,790,068,512	8,715,265,139
通貨αクラス受益証券	1,098,110,554	912,690,910
株式αクラス受益証券	307,568,219	190,779,820
	18,195,747,285	9,818,735,869

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型） 株式αコース／通貨αコース／株式&通貨ツインαコース）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2019年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第89期の決算日（2020年7月17日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2020年1月18日～2020年7月17日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

下記は、2020年7月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（65,771,524千口）の内容です。

国内その他有価証券

	2020年7月17日現在	
	評 価 額	比 率
国内短期社債等	千円 999,983	% <1.5>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第15期 (決算日 2019年12月9日)

(作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

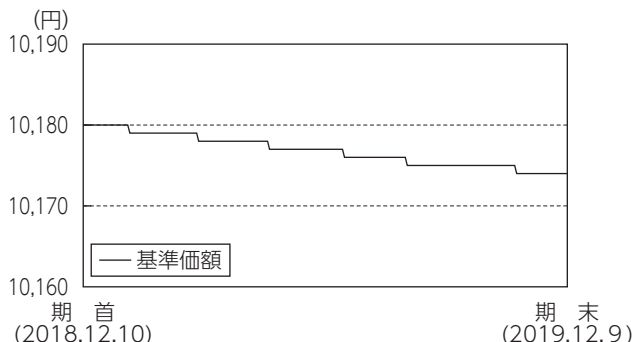
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
	円	%	%
(期首)2018年12月10日	10,180	-	-
12月末	10,180	0.0	-
2019年 1 月末	10,179	△0.0	-
2 月末	10,179	△0.0	-
3 月末	10,178	△0.0	-
4 月末	10,178	△0.0	-
5 月末	10,177	△0.0	-
6 月末	10,176	△0.0	-
7 月末	10,176	△0.0	-
8 月末	10,175	△0.0	-
9 月末	10,175	△0.0	-
10 月末	10,175	△0.0	-
11 月末	10,174	△0.1	-
(期末)2019年12月 9 日	10,174	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,180円 期末：10,174円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆ 投資環境について

○ 国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	350,004	(350,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国内短期社債等	238,999,542	238,999,547 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

買		売	
銘柄	金額	銘柄	金額
801 国庫短期証券 2019/3/18	350,004		

(注1) 金額は受渡し代金 (経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

国内その他有価証券

	当 期 末	
	評 価 額	比 率
国内短期社債等	999,997	<1.2>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
 (注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	83,690,918	100.0
投資信託財産総額	83,690,918	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	83,690,918,350円
コール・ローン等	82,690,920,679
現先取引(その他有価証券)	999,997,671
(B) 負債	51,646
その他未払費用	51,646
(C) 純資産総額(A - B)	83,690,866,704
元本	82,259,129,638
次期繰越損益金	1,431,737,066
(D) 受益権総口数	82,259,129,638口
1万口当り基準価額(C/D)	10,174円

* 期首における元本額は78,610,288,449円、当作成期間中における追加設定元本額は112,484,550,034円、同解約元本額は108,835,708,845円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ日経225-シフト11- 2019-03 (適格機関投資家専用) 1,850,319,411円、ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - AI新時代- (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - AI新時代- (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジあり) 9,608円、ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジなし) 9,608円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり) 49,107円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし) 49,107円、ダイワ/ "R I C I" コモディティ・ファンド5,024,392円、US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,676円、US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,330円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>

米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型) 180,729円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型) 737,649円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型) 95,276円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 337,885円、世界セレクトティブ株式オープン983円、DCダイワ・マネー・ポートフォリオ4,249,607,706円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト317,107,941円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株ファンド - パラダイムシフト-9,853,995円、低リスク型アロケーションファンドII (適格機関投資家専用) 4,212,646,194円、プルベア・マネー・ポートフォリオV 32,678,414,397円、プル3倍日本株ポートフォリオV 31,868,647,270円、ベア2倍日本株ポートフォリオV 6,946,381,074円、ダイワFEGグローバル・バリュー株ファンド (ダイワSMA専用) 3,666円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド 164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ 109,485,524円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド-インフラ革命- (為替ヘッジあり) 5,385円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし) 11,530円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 米ドルコース9,817円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース6,964円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース9,479円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ980,367円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,174円です。

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 42,819,286円
受取利息	111,756
支払利息	△ 42,931,042
(B) その他費用	△ 2,381,736
(C) 当期損益金(A + B)	△ 45,201,022
(D) 前期繰越損益金	1,418,229,476
(E) 解約差損益金	△1,927,237,136
(F) 追加信託差損益金	1,985,945,748
(G) 合計(C + D + E + F)	1,431,737,066
次期繰越損益金(G)	1,431,737,066

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。